



活力とあたたかさあふれる市政の実現を目指して――



第6代 かすみがうら市長

みやじま けん
宮嶋 謙

昭和38年8月8日生まれ [59歳]
座右の銘▶情熱
趣味▶読書(ドキュメンタリー中心)
家族▶義父母、妻、子ども2人の
6人家族

7月25日 初登庁 宮嶋市政 スタート

問 秘書広報課(千代田庁舎)

就任のごあいさつ

この度の市長選挙において、市民の皆様の温かいご理解とご支援をいただき、かすみがうら市長として就任できることは、私にとって大変な喜びであるとともに、本当に身の引き締まる思いであります。子どもからご年配の方々まで、すべての皆様が夢と希望に満ちあふれ、この街に生まれ、育ち、学び、住み、働いて「よかった!」と実感できる市政の実現を目指していきます。

その実現に向け、まちづくりをする上で大切にしていることが、3つあります。

1つ目は、住むひとに**優しいまち**であることです。市民目線の生活環境になっているか、年齢を重ねても住み続けられるか、困ったときに助けてもらえるか、心温まる交流が持てるかなど、「優しさ」という定規でまちを見直すことです。

2つ目は、**活力にあふれているまち**であることです。ヒトの交流に欠かせない公共交通、道路整備。モノ・カネの流れを創る地産地消。国・県との連携

による資本導入・職場創生。「流れ」は「活力」、「流れ」は「命」です。

3つ目は、**未来志向**であることです。明日への希望は、人も社会も「成長」に尽きます。しかし、大切なことは「規模」ではなく「質」に着目することです。子育て・教育・行政・地域経済の「質の良さ」は「未来への強さ」です。

この3つを念頭に置き、「**活力とあたたかさあふれる市政の実現**」を目指し、5年後、10年後の**未来につながるまちづくり**をしまいにします。



火災が発生! いったいどうすれば?

普段から火の取り扱いには注意されていると思いますが、いざ火災が発生するとどのように行動したら良いか、正しい判断ができない可能性があります。

自宅や近隣で火災が発生した際に取るべき行動を理解できるように、初期消火の動画を作成しました。いざというときに備えてご覧ください。

消火栓について

市内の約1000カ所に設置しており、初期消火に有効です。また、火災時に消防隊が使用するだけでなく、市民の皆さんも初期消火に使用できる設備です。



消火栓ホース格納箱

もし火災を見つけたら?

- ①大きな声で「火事だー!」と叫び、周囲の人に知らせ、119番通報をしてください。
- ②近くの消火栓を見つけ、3人以上で操作を行い初期消火を実施してください。

※自分の身に危険を感じたら、すぐに安全な場所まで避難してください。

問 消防本部消防総務課 ☎ 0299-59-0119

初期消火の方法と消火栓の使い方



ホースの長さ1本20mとなっており、必要なホースを結合してください。

吐水口にホースを結合したら、きちんと結合されているか必ず引っ張って確認してください。



消火栓の
使い方

予約方法・
詳細

